

## 6.姫路城(兵庫) 国宝 姫路市本町 68 番地

防御的要素の強い城で平時は倉庫の役割。5重で6階地下1階、石垣は14.8mの野面積(官兵衛が創った石垣あり)、高さ20m、天守まで31.5m、白漆喰の壁で漆喰100tを使用(防水、接着剤の役割)し厚さ3-3.5cmで、耐火、耐水効果がある。平成21年から5年かけて改築し、26-28億円の費用(国65%、他に市と県が分担)を要した。1580年豊臣秀吉が築城、1601年池田輝政が大改築し本多忠政が整備をした。西国統治の重要拠点として全容が整ったのは戦乱の世が落ち着いた1617年のことです。別名「白鷺城(はくろじょう)」(同パンフ)



天守



天守内部



石垣



いわれのある井戸